広告特集

企画・制作 朝日新聞社メディアビジネス局

プロジェクト説明&共同宣言

一般社団法人 日本MA-T工業会 代表理事(アース製薬株式会社 社長) **川端克宜さん**(写真右)
パシフィックリーグマーケティング株式会社 執行役員 **園部健二さん**(写真左)

フォーラム冒頭に、パシフィックリーグマーケティングと日本MA-T工業会がパートナーシップ契約を締結し、「パ・リーグ6球団感動の輪を広げようプロジェクト」を共同で実施することが発表されました。両団体はタッグを組んで衛生対策に取り組み、コロナ禍で失われた球場での感動や興奮、一体感を取り戻す活動を行います。

日本MA-T工業会代表理事の川端克宜さんは「コロナ禍のなか球場で応援することが不安な人もいたと思います。今年は我々が衛生対策をバックアップしてパ・リーグを盛り上げていきたい」と語りました。さらにパシフィックリーグマーケティング執行役員の園部健二さんは「この2年間、パ・リーグ6球団は様々な制約のなか試合を開催してきましたが、今年こそ制限を極力少なくして、皆さまに球場で観戦していただきたい」と締めくくりました。

紙上採録

正しい衛生対策で スポーツとエンタメを楽しもう! フォーラム

コロナ禍で、リアルな会場でスポーツやエンターテインメントを楽しむことが制限されてきたなか、プロ野球界では、球場で試合を楽しむための工夫や取り組みが進んでいます。そこで開幕直前の3月23日、今季パ・リーグの見どころや、安心して試合を楽しむための衛生対策を紹介するフォーラムが、品川ザ・グランドホール(東京)で開催されました。

[主催]朝日新聞社メディアビジネス局
[共催]スポーツ&エンタメの感動の輪を広げようプロジェクト、パシフィックリーグマーケティング、日本MA-T工業会

パシフィックリーグマーケティング公式衛生パートナー契約を締結

みんなで協力し球場での感動や一体感を再び

©H.N.F. ©Rakuten Eagles ©SEIBU Lions ©C.L.M. ©ORIX Buffaloes ©SoftBank HAWKS

第1部 トークショー みんなでもっと球場へ行こう スペシャルトーク

千葉ロッテマリーンズOB **里崎智也さん**
福岡ソフトバンクホークスOB **五十嵐亮太さん**
アイドルグループ「仮面女子」**猪狩ともかさん**
パシフィックリーグマーケティング株式会社 執行役員 **園部健二さん**

トークショーではプロ野球OBの里崎智也さんと五十嵐亮太さんが、今季の注目選手を挙げ、順位を予想。里崎さんは1位ロッテ、2位オリックス、3位楽天。五十嵐さんは1位ロッテ、2位ソフトバンク、3位オリックスと予想を披露しました。

西武ファンの仮面女子・猪狩ともかさんは、2人が西武をBクラスに予想したことにやや不満な様子。それに対し里崎さんは「自分の西武4位の予想は、1位に近いぎりぎりの4位です」と弁解し、会場の笑いを誘います。さらに「正直、どこが優勝してもおかしくない」と今季パ・リーグの盛り上がりに期待を寄せました。

その後、各球団の魅力がそれぞれのスタジアムの魅力を紹介。さらにパシフィックリーグマーケティングの園部さんが、コロナ禍の影響について話をしました。園部さんによると、パ・リーグの観客動員数は2019年まで右肩上がりで伸びていたものの、コロナ禍により動員制限などがあり激減。2万7千人を超えていた1試合平均の来場者数が21年には7700人強と、約2万人も減ったといいます。

「応援歌を歌えないなどの制約でファンの皆さんにも迷惑をかけました。今シーズンは日本MA-T工業会の力もお借りし、皆さんに球場での感動体験をもう一度提供したいと考えています」と締めくくりました。

里崎智也さん

五十嵐亮太さん

猪狩ともかさん

園部健二さん

第2部 パネルディスカッション 正しい衛生対策でスポーツとエンタメを楽しむには

一般社団法人 日本MA-T工業会 代表理事(アース製薬株式会社 社長) **川端克宜さん**
聖マリアンナ医科大学 感染症学講座 教授 **國島広之さん**
大阪大学大学院歯学研究科 教授 **阪井丘芳さん**

——この度、日本MA-T工業会がパシフィックリーグマーケティング公式衛生パートナーになりました。まずはMA-Tとは何か、教えていただけますか。

川端 MA-Tは「Matching Transformation System®」の略で、日本発の革新的な酸化制御技術の総称です。その一つである要時生成型亜塩素酸イオン水溶液は、普段は安全な水溶液ですが、ウイルスがある時だけ反応して不活化させる高い除菌力をもっています。私どもは産官学連携のもと、MA-Tを社会に広げる活動をしています。既にプロ野球やJリーグ、大相撲、歌劇場や飛行機内などで幅広く使われています。

——國島先生、球場で安心して試合を楽しむうえでは何に気を付ければよいのでしょうか。

國島 まず手指衛生は非常に有効で、新型コロナ感染リスクを半分から3分の1にまで下げます。さらに飛沫が届かない距離を取ることで、リスクを半分くらいに抑えられます。ここやって複数の対策を取ることで感染のリスクをどんどん下げていくことが大事です。既にコロナ禍で試合や観劇を楽しむための知見は積み上がっていますが、今後も新たな方法を皆さんとつくり上げていきたいと考えています。

——口腔内が専門の阪井先生は、MA-Tにどのような期待をしていますか。

阪井 新型コロナは肺の病気というイメージが強いのですが、感染を抑えるうえでは口腔が鍵となります。新型コロナウイルスは、肺より腸や唾液腺に多いことが分かっています。よって少量のウイルスなら、しっかりうがいをすることで感染を抑えられます。またMA-Tを口腔内にスプレーすると新型コロナウイルスを不活化でき、感染力を抑えられることが分かっています。球場でもお客さんが時々MA-Tをスプレーすることで、リスクを大きく減らせる可能性があると期待しています。

川端 私どもは人々に喜びや夢、活力を与えてくれるスポーツを、心から応援したいと思っています。特に、今季何かと話題の多いパ・リーグを、ぜひ皆さんとともに盛り上げていきたいです。

川端克宜さん

國島広之さん

阪井丘芳さん